

平成27年11月16日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 佐野義晴

島田市議会議員 村田千鶴子

島田市議会議員 藤本善男

島田市議会議員 横田川真人

島田市議会議員 伊藤 孝

島田市議会議員 青山真虎

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成27年11月14日（土）
午後7時00分～午後8時40分
- 2 会場 初倉公民館
- 3 参加者数 30人（男性28人、女性2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 藤本善男
 - (3) 挨拶 佐野義晴
 - (4) 報告 横田川真人、伊藤 孝、村田千鶴子
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 青山真虎

5 報告事項

(1) 議会の活動の動向の市民への報告について

① 総務消防常任委員会

- ・ 空港プロジェクト推進事業について
- ・ 職員の定員適正化計画について

② 厚生教育常任委員会

- ・ 防災医療救護所運営事業について
- ・ 諏訪原城址整備事業について

③ 経済建設常任委員会

- ・ 個人番号カード交付事務経費について
- ・ 新最終処分場候補地選定調査事業について
- ・ 遊休地対策事業について

④ 報告に対する質疑

- ・ 最終処分場は他市に任せる方向か。
- ・ 最終処分場について県又は広域単位で灰を処理する考えはないか。
- ・ 新たな最終処分場はつくるのか。
- ・ 廃棄物の管理をしっかりとしてほしい。説明が必要だ。
- ・ 契約が29年で終了するが、次の最終処分場のあり方を考えるべきだ。

(2) 意見及び情報の交換について（今回はテーマ設定なし。）

- ・ 自治基本条例は様々な意味で危険だ。
- ・ 市民会議で一部の限られた人たちが可否を決める条例は公正公平と言えない。
- ・ 市民会議などで市民が決めたことに議会は容易に反対できない雰囲気がある。第二議会という市民会議を外に作ることで二元代表制が揺らいでいる。
- ・ フッ素による虫歯予防は発がん性リスクがある。研究をすべきだ。
- ・ 空港周辺の調整池は定期的に土砂の除去はしているか。水量確保できているか心配だ。
- ・ 諏訪原城の整備はどこまで行うのか。
- ・ 介護の待機者が多い、今の市の政策で間に合うのか。
- ・ リニア新幹線工事による大井川の濁水が心配だ。

(3) 市等への要望事項

- ・ 最終処分場の諸問題が解決した後は花畑公園を設置してほしい。
- ・ 要介護者が増えてくる。我々世代が将来困らないようにしてほしい。
- ・ リニア建設工事に伴う濁水についてもっと議会で取り上げるべきだ。

6 まとめ（所見）

- ・初倉地区ということで最終処分場の話が多かった。私が参加した議会報告会で新市民病院建設が話題にあがらなかったのは初めてだった。市民病院の件で課題をあえて振ってみたが意見や質問は出てこなかった。なぜなのか気になった。

- ・市民との議論に時間を割いたほうが議会や行政のためになる。時間的に削れるところは常任委員会の報告。議会だより紙面に掲載されているので短時間で済ませるべき。また常任委員会報告の際、市民の反応が薄い事は特筆すべき事項。しかるべき対応を。

- ・今回は珍しく若者の参加があった。自治基本条例を考察する数名の方と、最終処分場問題の当事者だった。通常、議会報告会の参加者はほとんどが高齢者で、あらゆる会議・団体でこのような状態が顕著化している。先輩方の意見が悪いというわけではないが、高齢者の要望を聞くばかりの政治では島田市は疲弊するということを提起したい。将来を担う若者に政治に興味を持たせるには市政、議会は更にクリーンかつわかりやすい情報開示をし、誰もが目を通す母体での発信を再度検討する必要がある。若者の参画が少ないことは当局と議会の一番の課題である。